

公益社団法人日本植物園協会と 環境省の連携



「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」

平成27年6月25日

生物多様性保全の推進に関する基本協定書

公益社団法人日本植物園協会
環境省自然環境局



公益社団法人日本植物園協会と環境省自然環境局とは、我が国の生物多様性を一層推進するため、生物多様性保全の推進に関する基本協定書を締結し、日から発効することを確認した。

本協定は、絶滅危惧種の生息域外保全等、外来種対策、普及啓発その他の活について、今後一層の連携が求められている公益社団法人日本植物園協会と環境省自然環境局との協力体制を形作るものであり、今後、両者は、持てるそれぞれの専門的知見、経験、設備等を最大限活用し、連携して生物多様性保全の推進の実現に向け一層まい進していくことを、秋篠宮文仁親王殿下ご臨席のもと、ここに宣言する。

平成27年6月25日

公益社団法人日本植物園協会 環境省

名 岩科 司 署名 鈴木 正規



- ① 絶滅危惧種の生息域外保全等における連携
- ② 外来種対策における連携
- ③ 連絡調整会議の開催
- ④ 普及啓発およびその他の活動

①絶滅危惧種の生息域外保全等における連携

■希少野生動物の生息域外保全検討実施委託業務

- 令和元年度の業務内容:以下の4課題を実施
 1. 国内希少野生植物種等の生息域外保全手法の検討
 2. 国内希少野生植物種等の生息域外保全の実施
 3. 種子保存に関する検討
 4. 生息域外保全情報管理システムに関する検討
- 実施した業務内容を公開・非公開の報告書にとりまとめる
- 「世界植物保全戦略2010-2020」における目標:絶滅危惧植物の75%を生息域外で保全
- 同協会も植物多様性保全委員会を設置し、この目標の達成を目指した活動を実施

①絶滅危惧種の生息域外保全等における連携

1. 国内希少野生植物種等の生息域外保全手法の検討

- 協会加盟園が未保有の絶滅危惧植物国内種(約600種)をターゲット
- 年間10種程度を対象に、現地・文献調査等により情報収集
- 生息域外の保全の手法を検討する

2. 国内希少野生植物種等の生息域外保全の実施

- 新宿御苑において実施
- 特に域外保全の不十分な絶滅危惧植物の種子・胞子を対象
- 冷凍保存等による長期保存を目指す

①絶滅危惧種の生息域外保全等における連携

3. 種子保存に関する検討

- 難保存性種子の液体窒素を用いた超低温保存の試行と検討
- (一財)沖縄美ら島財団により実施
- 超低温保存中の種子の発芽能力試験の実施(3種程度)

4. 生息域外保全情報管理システムに関する検討

- 京都大学・東京大学との共同で開発
- オンラインデータベースとQRコードによる情報管理システムの構築、維持管理、有効活用に関する検討
- 意見交換、ワークショップ研修、主要植物園への導入の検討

※開発中

DLivECoP

Database of Living Ex situ Collections of Plant by the JAPAN Association of Botanical Gardens.

Welcome to DLivECoP

DLivECoPは植物園の域外保全植物を中心とした保有コレクション管理データベースです。現在、α版として稼働しています。

© JAPAN Association of Botanical Gardens & Ministry of Environment, Japan

Collections List コレクション一覧

Vernacular name 和名

[Search record レコード検索](#)

※開発中

Individual ID 個体ID	Vernacular name 和名	Institution 保存機関	Collection date 保存開始日	Record updated date 最終更新日	
3371	ヒメミズワラビ	██████████ 植物園	年月日未入力	2019/11/26	編集 Edit 削除 Delete
3372	シマムロ	██████████ ██████████	年月日未入力	2019/11/26	編集 Edit 削除 Delete
3373	アイノコイトモ	██████████	年月日未入力	2019/11/26	編集 Edit 削除 Delete
3374	ホソバリユウピン タイ	██████████	1992/07/16	2019/11/26	編集 Edit 削除 Delete
3375	リュウキュウコス ミレ	██████████	年月日未入力	2019/11/26	編集 Edit 削除 Delete

Collection Detail コレクション詳細

ID 個体番号	1
Vernacular name 和名	キブネダイオウ
Scientific name 学名	Rumex nepalensis Spreng. subsp. andreaeanus (Makino) Yonek.
Family name 科名	Polygonaceae (タデ) APG 別 GreenListより Polygonaceae (タデ) 新エンクラウ GreenListより
Red list category 環境省レッドリストカテゴリー-2012	絶滅危惧IB類 (EN: Endangered)
Species information 種情報	京都市貴船川で発見されたタデ科の多年草で、当初は日本固有種とされたが、大陸との近縁種との比較で変更にされた。鹿による食害や河川改修などによって個体数を減らし、さらに外来種との交雑によって純系の個体が減っている。

Introduction name 導入名 未入力

Institution 保存機関 植物園



Catalog number 機関内ID									
QR Code QRコード									
Event history イベント履歴	<table><tr><td>1</td><td>年月日未入力</td><td>植物園</td><td>移動</td></tr><tr><td>2</td><td>2017/03/06</td><td></td><td>移動</td></tr></table>	1	年月日未入力	植物園	移動	2	2017/03/06		移動
1	年月日未入力	植物園	移動						
2	2017/03/06		移動						
State 生存状態	生死未入力 枯死 生存 生死不明								
Habitat 生育環境	未入力								
Origin 産地									
Flowering season 花期									
Label information ラベル情報	なし								
Collection date 保存開始日	年月日未入力								
Introduction form 導入形態	未入力 種子 株・個体 挿し木 不明								
Introduction method 導入方法	未入力 野生 由不明個体を導入 由不明個体を導入 不明								
Introduction remarks 導入備考	未入力								
Sensitivity level 機密度	機密度低 機密度中 機密度高 機密度最高								
SSR information SSR情報	未知								
Flow cytometry peak value フローサイトメトリーピーク値	200.5								

③連絡調整会議の開催



- 平成27年度から：**生物多様性保全の推進に関する連絡調整会議**
- 話題：生息域外保全・野生復帰の取り組み、特定外来生物指定、認定希少種保全動植物園等制度など

※平成31年1月開催の連絡会議出席者

■日本植物園協会

会長
副会長 2名
常務理事 2名
植物多様性保全委員会
委員長
副委員長
事務局長

■環境省 自然環境局

野生生物課
課長
課長補佐
希少種保全推進室
室長・室長補佐
係員・環境専門員
新宿御苑管理事務所
温室第一科長
温室第二科長